琉球大学学術リポジトリ

台湾の畜産のぞき歩き

メタデータ	言語:
	出版者: 琉球大学農家政学部
	公開日: 2011-06-16
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者: 松田, 祐一, Matsuda, Yuichi
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/20388

台湾の畜産のぞき歩き

去った9月、アジア財団の援助で台湾旅行の機会を得て、約3週間、北は台北から南は高雄まで、各地の畜産施設や農家をみることが出来ました。初めての台湾旅行であったので、いろいろ興味深いことが多かったが、ここでは畜産、それも養豚について強く印象に残ったことについて述べてみたい。

台湾の畜産で最も重要なのは、沖縄と同じく養豚である。農家戸数77万戸、豚の頭数は357万頭、これを戸数割にすると1戸当4.6頭、即ち各農家4－5頭の豚を飼養していることになる。品種は、バークシヤー、ヨークシヤー、在来種の桃園種が多い。桃園種というのは、黒色の豚で、顔や体に、しわがあり、背中は凹み、腹は垂れていて人相ならぬ豚相のよくない豚である。昔からその地に飼養されている品種であるから、台湾の気候、風土に適し、体強健、繁殖力旺盛で1腹の産仔数は9頭である。その点バークシヤーの産仔数7頭、ヨークシヤーの8頭に比べて優れている。発育のおそいのが欠点であるが、矢張り、この強健で、産仔数の多いことが桃園種の魅力になっているようである。農家で肉用豚として飼養する豚は、桃園種とバークシヤーの一代雑種が成績良好ということであった。

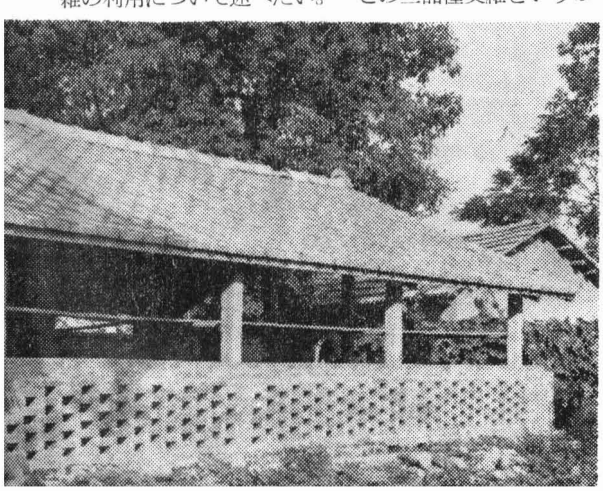
三品種交雑の利用

台湾糖業公司の所有する種畜場、繁殖場及び飼養農家と一連の系統の下に、作出飼養されている豚の三品種交雑の利用について述べたい。　この三品種交雑というのは、桃園種の雌に、バークシヤーの雄を交配して一代雑種（F_1）を作り、このF_1の雌に、ヨークシヤーの雄を交配して、三品種の血液が入るようにした雑種のことである。もう一つの方法は、桃園種の雌に、最初は、ヨークシヤーを交配し、このF_1の雌に、バークシヤーを交配して三品種交雑を作る。

三品種交雑を作ると原種である桃園種、バークシヤー種ヨークシヤー種等の純粋種よりも、又F_1よりも、産仔数が多く（平均10頭）、出生時の仔豚の体重も、離乳期の体重も重く、なお、肉豚として出すまでの日数も、1か月近く短縮されるということである。

この交雑種を作るために、大ホという所に種畜場があって、ここでは原種となる桃園種、バークシヤー、ヨークシヤーの純粋種育成と、一代雑種の生産を行い、この種畜場で出来た純粋種の雄と、一代雑種の雌を、5か所に設置された繁殖場に配付する。各繁殖場では、一代雑種に純粋種を交配して三品種交雑を作り、これを飼育農家に飼養せしめるのである。台湾糖業公司が、かく組織的に、雑種強勢の利用に意を用い、1か年に5万頭の肉豚を生産して利益を得ていることは、豚の繁殖上興味あることである。　三品種交雑を作るに当って、最も必要なことは、優秀なる原種を保持するために、厳重な選択淘汰を行い、常に能力の向上を図ることであって、このために立派な技術と施設をもつことになみなみならぬ努力が払われていると考えた。（9ページの左につづく）

台湾の豚舎



桃園種（とうえんしゅ）

（5ページの台湾の畜産のつづき）

豚の保健共済事業と協同販売

前述したように豚は、台湾の重要家畜であって、農家の現金収入源となり、農家経済をうるほすことが大きいので、若し豚が斃死したりすると農家に与える打撃も大きい。戦後の混乱期には、豚コレラが流行し、1か年に4万頭の豚が死んだこともあって農家は、非常に困ったことがあったという。

高雄県農会では、豚の保健共済事業の必要を痛感し、1956年にこの事業を開始している。この保健共済事業というのは、県農会と町村農会の協同の下に運営されていて、保健共済事業に加入しようとする農家は、豚1頭に付、肉豚は50仙、種豚は1弗を、保健共済費として農会に納める。保証される期間は、肉豚は10か月、種豚は12か月である。各町村農会には、専門獣医が数人配置されているから、加入豚に対しては、豚コレラ、豚丹毒等の予防注射を無料で行い、豚が病気になった場合は、無料で治療してやる。不幸にして豚が死んだ場合は、豚の時価の80%が保証されるということである。

1959年には高雄県のみで、加入頭数7万4千頭、加入率36.4%に上っているが、現在では、台湾全体に普及しつつあるという。政府の補助は殆どなく、農家の納入する加入金のみで全経費が、まかなわれているが、これが日本の場合であったら、政府の補助が、少くとも3分の1は交付されるだろうと考えた。生産された肉豚は、町村農会と県農会が協同して、出荷販売をやり、農家の利益を保護している。今年9月の生豚市場価格は、次のようであったが、今年は安値で、採算がとれないという話であった。

生豚72kg	(120斤)	45弗
84	(140斤)	45.75
106	(175斤)	46.50
128	(213斤)	47.25

（松　田　祐　一）

（4ページのジャガイモのつづき）

く出し、且つ揃えてから10糎内外を標準として土寄せを行う方がよいと思います。土寄せは1回に行うのではなく2回又は3回に分けて行い、第1回は芽が8糎内外に伸びたころ、第1回の追肥と同時に行い、最後の土寄せは、茎葉が十分伸びて、花の咲く1週間位前までに終るべきです。おくれると根を多く切って、却って障碍となりますから時期を失しないようにすべきです。

中　耕　と　除　草

中耕は土壌を軟かにして土中の空気や水の流通を助け、肥料の分解や根の発育を促すので、ぜひ必要な作業ですが、それは土寄せの際に除草も兼ねて行うのが便利です。中耕の際は株元深くすきこんで根を多く切ることのないように致しましょう。

病害虫の防除

じゃがいもの病害で最もはげしいものはバイラスと疫病です。

バイラスは日本政府の種芋の検査合格証印のついた健全な種いもを用うれば一応安心してよいと思います。

普通沖縄で最も被害の多いのは疫病です。昨年2月には相当広い範囲にわたって発生し、大きな被害を与えております。この病気は割合に高温多湿の日が続くと発生が多いといわれ、2－3月ごろによくみられます。

疫病は最初葉に不規則な暗かつ色の病斑が現れ、次第に茎に及びます。その蔓延は極めて激しく短時日で畑全体に拡って茎や葉が腐敗します。いもにも伝染しますが、病害を受けたいもは貯蔵すると、患部はくぼみ、しわができて形がくずれてきます。この病気は発生したらなかなか喰い止めることが出来ないので何よりも予防が肝心です。

植付前に必ずミクロヂンかウスプルンなど、700－800倍液に20－30分浸漬して種いもの消毒を怠らないように致しましょう。